

10.1 救援物資の搬送

県内各地で激しい雨に見舞われ、多くの方が避難所に避難した。特に、甚大な被害を受けた防府市では、最大時約1,500人の住民が、避難所での生活を余儀なくされ、山口県災害対策本部は、市の要請を受け、直ちに必要な災害用毛布等を現地に搬送した。

また、多数の事業者の方から、飲料水、食料品、日用品など救援物資の無償提供の申し出があり、山口市・防府市や関係ボランティアセンターと連携しながら、被災地のニーズに応じ、物資を配分した。



写真 1-10-1 山口県並びに日本赤十字社から送られてきた毛布

10.2 給水活動・水道の復旧

大規模な浸水被害が発生した山口市では、最大時で 35,377 戸（市全体の約半分）が断水した。

7月21日、市からの要請により自衛隊へ災害派遣要請を行い、陸上自衛隊第13旅団などにより、29日までの8日間で、市内11箇所において1,441tの給水支援が行われ、さらに、23日から30日までの8日間、市内2箇所では入浴支援も行われた。

また、日本水道協会山口県支部及び日本水道協会中国四国地方支部の協力も得て、給水活動が行われた。

なお、山口市の水道施設は、29日に復旧を完了した。



写真 1-10-2 自衛隊による給水支援活動



写真 1-10-3 自衛隊による入浴支援活動

10.3 災害ごみの処理

今回の豪雨による災害廃棄物は県内で約1万tに達し、とりわけ、防府市で約7千t、山口市で約2千tを超える大量の被災廃棄物が発生した。

この被災廃棄物は各処分場に仮置きし、順次、撤去等の処理が進められた。



写真 1-10-4 山口市で集積された災害廃棄物の山



写真 1-10-5 防府市で災害により発生したゴミ